



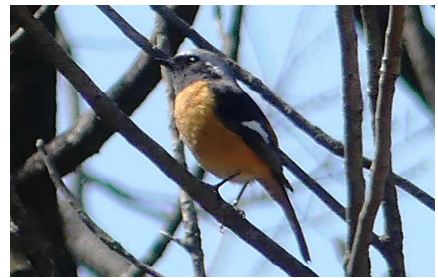
事務所前のソメイヨシノの冬芽です。去年(3/26名古屋の開花日)の写真と比べると膨らみが大きいように思います。(今年の開花予想は3/19) 観察会を終えての帰り、愛知池南の水路沿いで、何とグェグェというアマガエルが一声。カエルもいつもより早い暖かさに誘われて鳴きだしたようです。



ハチジョウツグミ

枝に飛び移るのが見えた時は、シロハラかなと思いましたが。胸のまだら模様が茶色く、よく見かけるツグミ(右)とは違

って見えます。ツグミと同じ冬鳥ですが数は少ないようです。



ジョウビタキおす

町の中でもヒツヒツという鳴き声が聞こえ姿もよく見る冬鳥です。黒い顔、茶色い胸に白い斑が目立ちます。



ヒサカキ

上:おばな

下:めばな

雄花と雌花は別々の木にたくさん咲かせます。雄花は独特な匂いがします。これは正に雑木林の早春を代表する匂いだと思います。



テングチョウ

変わった模様の茶色い蝶です。太陽に向けて翅を広げ暖をとっています。早春の雑木林を代表する蝶です。幼虫の食草はエノキです。



ニホンタンポポ

冬でも咲いているタンポポはセイヨウタンポポです。昔ながらの場所で咲くのは春だけに咲くニホンタンポポです。



スマレ

上：ニオイタチツボ
スマレ下：ヒメスマレ
春を代表する花
で、他の植物に先
駆けて咲きます。ス
マレの種にある付属
物はアリが好むので
種を運んでもらいま
す。



チュウガタシロカネグモ

おなかの背面上部に黒い斑紋が 2 個あり
ます。側溝に何匹も巣を張っていました。
水辺に円網を張り草原に見られます。



黒色：チャトゲコナジラミ

ヒサカキの葉裏に居ました。
排泄する甘露がすす病を誘
発し、チャにも寄生し被害を
及ぼします。春に有翅成虫が
発生。黄色：チャタテムシ



ヨコヅナサシガメ幼虫

ソメイヨシノの樹皮の割れ目で
冬越しをしていたのが暖かさ
に誘われるように出てきたよう
です。久しぶりの対面でした。
肉食性のカメムシです。



ヤナギの芽吹き

水中から生えているヤナギが
芽吹き、正に「*柳あおめる」
季節の到来を告げています。
*啄木の歌「やはらかに柳あおめる
北上の岸辺目にみゆ泣けと如くに」

植物 (花：ヒメオドリコソウ、ミドリハコベ、ホトケノザ、ニホンタンポポ、タネツケバナ、オオイヌノフグリ、セイヨウカラシナ、ヒメスマレ、ニオイタチツボスマレ、スイセン、ヒサカキ雄・雌、ミツバアケビ、)、冬芽膨らむ(ソメイヨシノ、コナラ、アベマキ、ヤマハゼ、ミヤマガマズミ展開、イロハカエデ展開、ヤマザクラ、ヤマモモ、コナラ、アラカシ、アカマツ、クロマツ、ヤナギ類等、コバノミツバツツジ花蕾1)、**昆虫** テングチョウ、ガ幼虫(スイバ)、ミノムシ3、カマキリ卵のう(ムネアカハラビロカマキリ、ハラビロカマキリ、チョウセンカマキリ)、ヨコヅナサシガメ幼虫、クロバエの一種、ユスリカ類蚊柱、ドロバチ類巣多数、ナナホシテントウ死体、チャタテムシの一種、ミカントゲコナジラミ、**クモ** チュウガタシロカネグモ、ジョロウグモ卵のう、ウヅキコモリグモ雄、**鳥・その他** トビ、ウグイスの囀り、スズメ、ハシボソガラス、キジバト、ヒヨドリ、ハチジョウツグミ、メジロ、コゲラ、シジュウカラ、ジョウビタキ雄、ヤマガラ、カワウ、カルガモ、カンムリカイツブリ群小さくなる、ホシハジロ、キンクロハジロ、オオバン、モグラ塚、(茸)タマキクラゲ、クロコブタケ、カイガラタケ、(地衣類)マツゲゴケ等、(シダ)ノキシノブ孢子囊、

次回は3月12日(木)、午前9時30分~12時、水資源機構P前集合、参加費100円